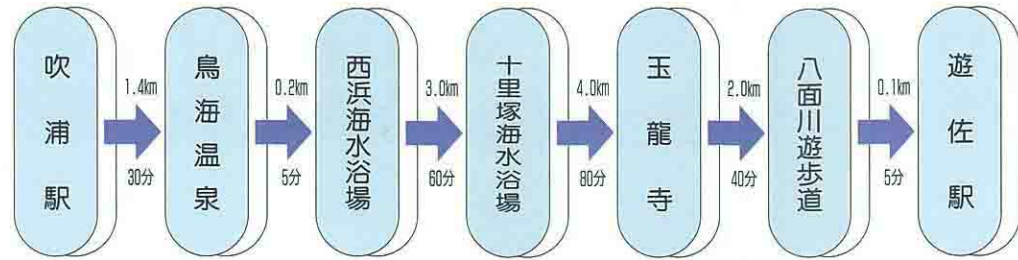




NEW OKUNO HOSOMICHI·YAMAGATA

白砂青松と鳥海山を眺めるみち

●コース(10.7km・徒歩3時間40分)



周辺
見どころ
食べどころ

◎鳥海山



山形・秋田の両県に跨って日本海に裾野を洗う鳥海山は、標高2,236m、山麓の周囲が120kmに及び日本有数の高山です。秀麗で雄大なスケールを誇る山容は多くの岳人を魅了し、内包する樹木や小さな命との触れ合いも大きな魅力です。またの名を出羽富士と呼ばれ、山麓周辺の人々の守り神として、古くから崇められてきました。気象変化は激しく、それだけに四季の彩りも鮮やかです。降り積もった雪が豊富な沢水となり、幾多もの谷を刻んで広い山裾に流れ、御水は水田を潤し稲を育ててきました。人々の生活の背景にはいつも鳥海山があり、信仰の山としての存在も大きく、その姿の美しさとともに心の支えとなっています。

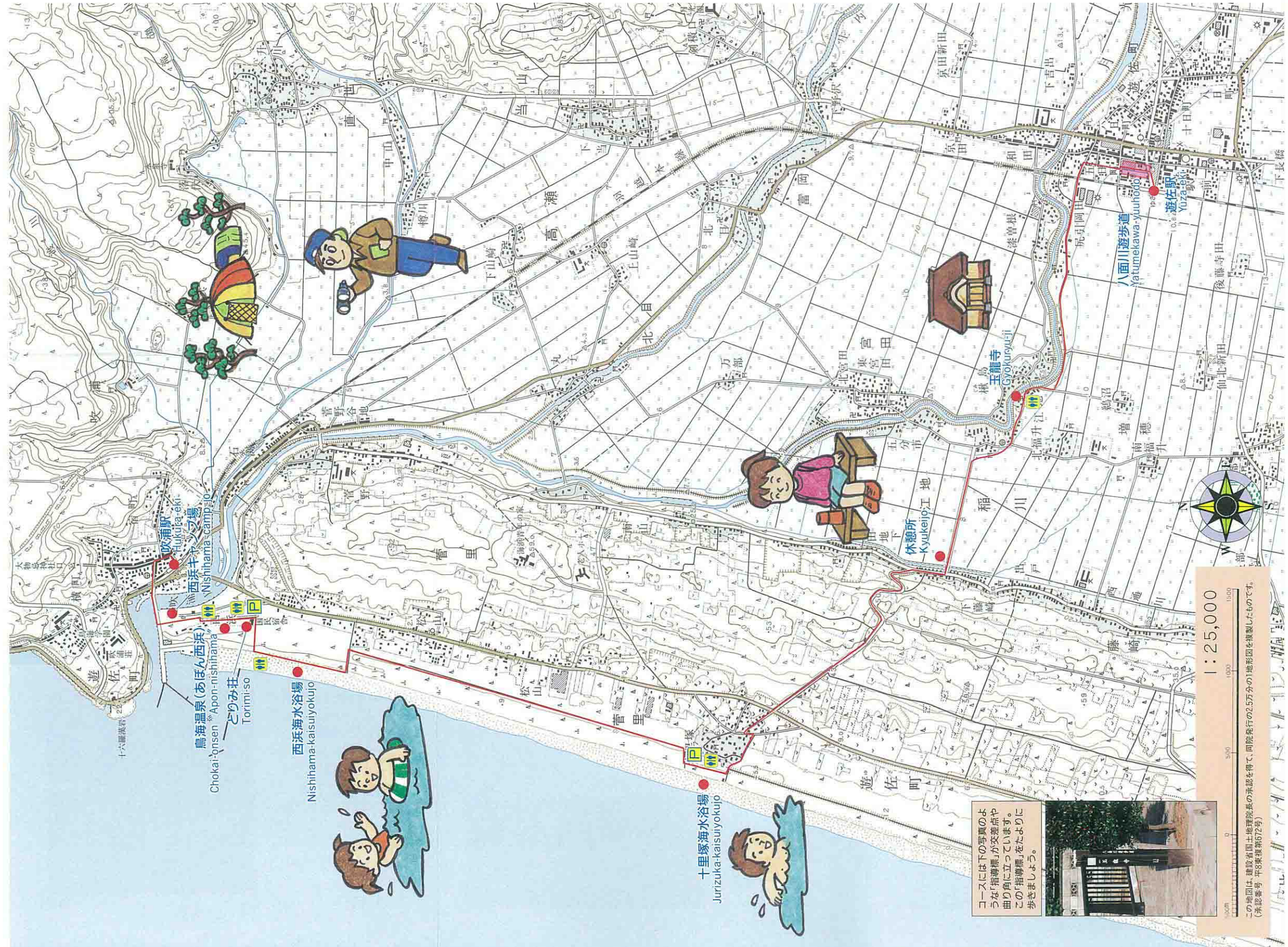
◎国民宿舎「とりみ荘」

国民宿舎「とりみ荘」は、ゆとりのある客室スペースと取れたての地場産物の素材を生かした料理が自慢の宿泊施設です。この施設は国道7号線と西浜海水浴場に挟まれた所があり、西浜海水浴場には徒歩5分、鳥海ブルーラインには車で約15分の場所です。また、鳥海温泉「あぼん西浜」には横続きとなっており、海水浴客や登山客を中心に年間約2万人が利用しています。料金は1泊2食付きで6,500円から。



◎旧青山本邸

漁業王と言われた遊佐町出身の青山留吉は、安政六年(1859)に現在の北海道小樽市で、ニシン漁を始めました。やがて使用人三百数十人、漁船百三十隻を有し、道内有数の漁業家として成功を収めました。この本邸は明治三年(留吉五五歳)に建設されたものです。現在は、当時の繁栄を物語る文化遺産を展示しています。入館料は一般400円、入館時間は午前9時から午後4時までとなっています。なお、休館日は月曜日(但しその日が祝日の場合は翌日)です。



1:25,000
この地図は、建設省国土院院長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図を複製したものです。(承認番号 平8東環第672号)



コースには下の写真のよ
うな「指標」が交差点や
曲り角に立っています。
この「指標」をたよりに
歩きましょう。